

11月2日 パレスチナ映画 世界同時上映

枚方一日上映会

2025 年 11 月 2 日(日)10:00~16:30 入場無料
枚方市総合文化芸術センター別館(旧メセナ枚方)

PALESTINE CINEMA DAYS

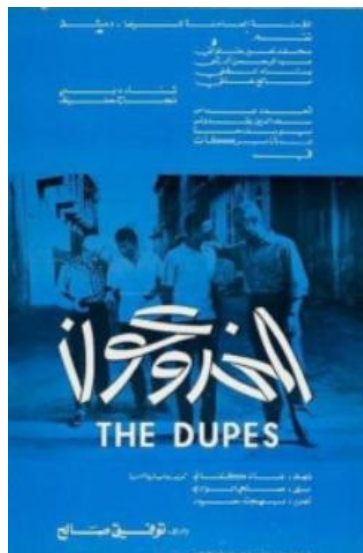
Around
the World 2025

パレスチナ人にとって不条理なバルフォア宣言が出された11月2日に、パレスチナ人に連帯し、彼らの声をかき消そうとする圧力に抗うため、パレスチナ映画が世界各地で同時に上映されます。

The Dupes／太陽の男たち

107 分 アラビア語(字幕:日本語)

10:00~



パレスチナを代表する作家、ガッサーン・カナファニーの傑作「太陽の男たち」を映画化。クウェートへ出稼ぎに行くため、給水車のタンクに隠れて密入国しようとするパレスチナ難民の男たち。国境超えの際、のらりくらりとした官僚に時間を取られ、灼熱の沙漠でタンクの中の温度は上がる。助けを叫ぶパレスチナ人の声は、タンクの外に届かない。1968年に書かれた作品が、

50年以上経つ今でも、同じ強烈なメッセージを放つ。

Jenin, Jenin/ジェニン、ジェニン 54 分

アラビア語(字幕:日本語)

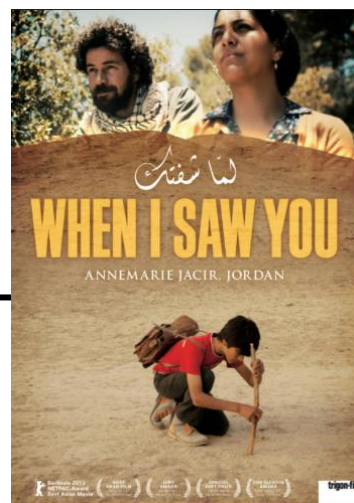
イスラエルで上映禁止になった、「ジェニンの戦い」を題材にしたドキュメンタリー。2002年のイスラエルによる軍事作戦中、

ジェニン難民キャンプへのジャーナリストや人権団体の立ち入りは禁止され、パレスチナ側のナラティブは届かない。パレスチナ系イスラエル人、モハンマド・バクリ監督がカメラを手にジェニンで拾う、パレスチナ人の生の声。



15:00~

13:00~



When I Saw You/君を見たとき

98 分 アラビア語(字幕:日本語)

父と生き別れ、母と一緒にヨルダンで難民となったパレスチナ人少年ターレクは、難民キャンプの生活に馴染めない。子どもの目を通して描かれる、パレスチナ人に押し付けられた不正義、故郷への思い、そしてレジスタンス。ターレクは故郷パレスチナに戻れるのか。パレスチナ人女性として初めて長編映画を撮影したアンマリー・ジャーシル監督による2作目長編映画。第63回ベルリン国際映画祭、最優秀アジア映画賞受賞作。

***** 上映時間 *****

9:40 開場

10:00~ The Dupes (ドゥア)

13:00~ When I Saw You (ドゥア)

15:00~ Jenin, Jenin (ドキュメンタリー)

主催

平和で豊かな枚方を市民みんなでつくる会
連絡先

090-7096-4719(高松)